

# e-ビーフNEWS 北の牧場から

January 2026

月刊情報誌

No.145

発行  
特定NPO環境リサイクル肉牛協議会  
〒060-0311  
北海道河東郡音更町字然別  
北5線西25番地2  
FAX 0155-40-7301

## 十勝は、白銀の世界

昨年とは様変わりで、年前にドカ雪60cmが降り、すっぽり雪に覆われた年越しとなりました。寒さも一段と増し、-15度越え。日中でも氷点下の真冬日が続き今年の寒さは一段と体にこたえます。ガチガチの世界すべてが凍り、ドアノブや手すりに触るとくっ付きます。お日様が7時にやっと目覚めますが、その時が一番寒いです。

牧場の牛たちも、冬毛に真白く霜をまとい、黒い牛が白く見えます。口周りのひげも吐く息で真白に放射状に広がります。あまり寒いと食いが落ちますが、少し緩むと一気に食べ始め、調整が難しいですね。黙々と食べ寒い冬を乗り越えようとしています。牛舎周囲には、新雪の後にはいろんな動物の足跡がくっつき。いろんな動物が訪問がありますね。

冬至を過ぎ、反転。まだまだ寒さが続いますが、日が伸びてくるのが唯一の明るい兆しかな。



## 活動のお知らせ

12/12(金) 事務局会議 シンポジウム総括、次年度シンポジウム内容検討

## NEWSばか読み

- 中酪 2026年に都府県酪農家5000戸割れに  
12/1:北海道に集中役割増
- スペイン産豚肉 アフリカ豚熱発生で一時輸入(輸入量17%)停止  
12/2:国産需要増
- 農水省 畜産クラスターで酪農分野制限撤廃  
12/3:建設資材費高騰で帳消し
- 10月輸出額で牛肉22%増以上に緑茶2.3倍増85億円  
12/3:ブルーム
- TPPで輸入プロセス用チーズの関税率が半減15% 国内生産に影響  
12/3:
- 別海 酪農家が宿泊施設開業12/3:地域の衰退化に危機感
- 家畜市場 11月和牛子牛相場70万円超え3年半ぶり  
12/4:肥育農家に圧迫
- 農水省 食料システム法で価格形成努力義務に判断基準提示12/5:
- 環境省 クマ被害230人過去最悪 青森りんご被害深刻  
12/6:クマとの共存課題
- 2024年度有機食品輸出が昨対1.8倍最多 茶・醤油伸び  
12/8:海外有機食品市場
- アグリスマイル BS資材効果8割実証12/10:使用条件に課題点
- アメリカ 報復関税の影響で農家の経済支援に1.9兆円  
12/10:足元に帰る
- 農研機構 荒廃草地更新にライグラス追播の簡易技術研究  
12/10:
- NTTドコモ 栃木県でサーモカメラで子牛体温監視システム開発  
12/10:
- 秋田県 全国コメ生産県で2026年度米の生産目標を10%減  
12/11:先々想定
- 熊本食肉卸杉本本店がクウェートにハラール認証牛肉輸出開始  
12/11:中東への拡がり
- 全国畜産縦きいきネットワーク 畜産女性農業者一堂に情報交換会  
12/12:いいね
- みどり認定急増1.6倍3万件に 2027年度直接払い必修条件  
12/18:意識が高まれば
- 中酪 北海道含め11月受託乳量が前年割れ12/19:
- JA全農 配合飼料価格1回3月4200円上げ原料価格上げ  
12/20:またまた圧迫
- 日銀 政策金利0.75%上げ30年ぶりの高水準  
12/20:景気は良いのか
- 更別村 十勝さらべつ共創カンパニーと脱炭素連携協定  
12/22:官民連携脱炭素
- 26年度予算折衝佳境 構造転換・新規就農者に助成増額165万円  
12/23:既存の上澄
- 農水省 2024年農業産出額10兆円超え 28年ぶり  
12/24:総額増えたが
- 農水省 有機推進方針の見直しに着手 需要拡大が課題  
12/24:作っても売れなくては
- 農水省 26年度予算2兆3千億円決定 構造転換強化  
12/26:既存維持変わらず
- 農地所有適格法人 一般企業リース法人が10%増加  
12/26:農業の開放化
- 文科省 26年度予算で学校給食無償化予算確保12/27:一步前進
- 日本食肉格付協会 ついに和牛去勢7割がA5  
12/29:需要要求とのギャップ
- サッポロビール 北海道で秋撒き大麦開発へ  
12/29:地産地消のビールが
- クマ農業被害拡大 冬眠しない、人依存型増加12/31:課題越年

## 東京直近NEWS(12/29 Shi-REPORT)

### ホルス

市況相場は上場少なく上げ基調に変化なし。  
絶対頭数の減少傾向は変わらず、各メーカー集荷苦戦継続。  
販売状況は12月期と考慮すると、後半は和牛ヘシフト期のため不足感は軽減。全体として切落し中心でロイン、カタロースのスライス材の動き。  
但し、枝肉コスト高騰続いているおり売価軒嫁へ交渉も継続。  
1月以降の不需要期も価格交渉高値基調維持。  
荷動きとして鈍い状況も、慢性的な不足感と相場水準高値から枝肉単価に見合った価格要求継続も、国産牛売り場確保も課題。

### 経産牛

北海道内の出回り頭数の減少傾向は継続課題。  
12月期は年末年始も見据え出荷頭数は上場の情報。  
但し、相場は高値安定しており、枝肉@1000付近天井。  
販売面は年末期から上物にシフトしており、一定量の加工向け原料の動きにとどまった印象。挽き材も一時の引き合いからは落ち着いており、逆にやや鈍くなっている。一部からは決算の関係もありスポット的な案内情報も。末端では輸入品も高値から挽き材の特売打てず、原料配合の見直し動きもあり、今後の情勢に注視。

